

議会だより

No.117
2022.8.1 発行

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



表紙の作品

第3回観光協会観光フォトグランプリ
議会だより賞
題名 『静謐』

撮影者 徳江 由華さん
撮影場所 桂木観音

2P 6月議会ではこんなことが決まりました

3P～4P 臨時会を開会

5P～11P 一般質問13人が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会
〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

6月議会ではこんなことが決まりました。

令和4年6月定例会は5月31日から6月9日までの10日間の会期で開催されました。
 今定例会に提案された案件は、専決処分の承認2件、条例の一部改正1件、補正予算2件、
 町道の路線の廃止1件、路線の認定1件合計7件が上程され慎重なる審議をいたしました。
 一般質問は13名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。



専決処分

地方税法改正に伴う省エネ改修工事を行った住宅に係る特例の拡充等を専決処分。

対象住宅を「平成26年4月以前」に拡充し、断熱改修工事と合わせて行う太陽光発電装置等の設置工事含まれる等の改正が行われました。

条例改正

地方税法改正に伴う個人住民税の住宅ローン控除の適用期間の延長等を改正。

適用期間を4年間延長し、入居期限を「令和7年12月末」まで延長等の改正が行われました。

補正予算①

物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯を支援する事業費や4回目のワクチン接種事業費など2266万8千円を追加。

本会議での主な質疑

問 コールセンターの問合せ件数は。

答 100件から120件。

問 他市町の状況は。

答 本町は混乱を避けるため接種券を間隔をあけて発送しているので混乱しないが、他市町では一斉に発送しているため混乱が生じている自治体もある。

問 4回目の接種により町民も予約に慣れており早く接種をしたい方もいる。

答 接種券の一斉発送に対してのご見解は。できるだけ早めに接種券が届くよう配慮するが、間隔をあけた発送のズレを利用し予約センターが逼迫しない状況をとる。

補正予算②

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象事業費として9045万9千円を追加。
 今回の対象事業には原油・物価高騰による事業者、生活者支援分が新たに創出されました。

本会議での主な質疑

問 交付金の総額は1億2870万7千円である。全額が予算化されていない理由はある。

答 準備が整い早急に対応しなければならぬ事業を予算化した。残りの予算についてはしっかりとした事業計画をたて9月議会の補正予算で上程予定である。

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象事業】

- ① ガソリン代の高騰や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用者が減少している公共交通事業者に支援金を交付します。
- ② 私立保育所・幼稚園・公立保育所の副食費を無償化します。(令和4年8月～令和5年3月までの8か月間)
- ③ 原油・物価高騰へ対応し町内民間保育施設の保育の質の向上を図ることを目的に補助金を交付します。
- ④ 町内のひとり親世帯に対してJAいるま野を通じて精米5kgを支給します。
- ⑤ 町立小中学校体育館及び総合体育館にWi-Fi環境を整備します。
- ⑥ 小中学校の給食費を無償化します。(令和4年9月～令和5年3月までの7か月間)
- ⑦ 抗原定性検査キットを購入し町イベント開催時等の検査実施に活用します。
- ⑧ 高齢者にタクシー券(初乗り運賃分)を配布し、ワクチン接種会場までの移動や、日常生活に係る交通費負担の軽減を図り、外出援助を行います。(75歳以上の高齢者が対象、日常の買い物等にも利用可)



討論

補正予算②
賛成します

千葉 三津子

保育所や幼稚園の副食費無償化や、小中学校の給食費の無償化を、令和5年3月まで継続する予算が計上されている。公明党も学校給食の保護者負担の軽減を推進している。現在の物価高騰により困っている多くの子育て世帯に対して意味のある補正予算で評価できるものだ。尚、町が少子化対策の充実に努力していると認められる。

継続審査中の町道廃止・認定、可決！！

臨時会

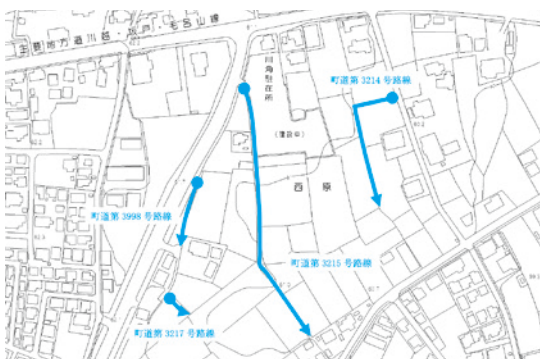
令和4年第2回6月定例会において、生活福祉常任委員会に付託となった議案第26号町道の路線の廃止について及び議案第27号町道の路線の認定について、本件に伴う道路法の解釈運用に係る質疑において、町当局から明確な基準等が示されなかったこと、また裁判中の案件となっている敷地内の事件でもあることから更に慎重な審査を必要とするとの理由から継続審査となりました。

6月20日生活福祉常任委員会が開会され慎重審議の結果、可決するものと決し、臨時会で委員長報告の後、採決が行われ議案第26号町道の路線の廃止については賛成多数で可決。議案第27号町道の路線の認定についても賛成多数にて可決しました。

令和4年第1回臨時会が6月27日に開催されました。6月定例会で継続審査になっていた議案2件及び補正予算1件について慎重審議を行いました。

生活福祉常任委員会での主な質疑・答弁

- 問** 継続審査となった理由として、道路法違反ではないか、裁判中であるのでは。
- 答** 都市計画法第32条の公共施設の管理者の同意により道路管理者が道路の使用を許可しているため、みだりに禁止行為を行うものではない。また、第37条ただし書きにより町が完了公告前の建築行為を承認しているため建築が可能となっている。また、裁判との関係は、開発許可処分を行った時点で用途指定に合致した開発処分がなされたかどうか争点。そもそも町道の廃止は開発許可の要件ではないため、議決が裁判に影響することはない。
- 問** 道路法では、供用の廃止を行った町道について、管理期間である2か月が満了するまでは道路管理者が管理する必要がある。今回の道路廃止後について、違法性は無いのか。
- 答** 道路法第92条は、道路が残る供用廃止後の道路管理者の規定であり、本件のように道路をなくしてしまう場合には適用されるものではない。
- 問** 道路の認定廃止は、あらかじめ議会の議決の必要があるということであるが、事務手続きについてどのようにとらえているのか。
- 答** あらかじめの意味については、開発の前ということではなく公示の前に議決を経なければならないということである。
- 問** 裁判中であるため、判決を待ってからの採決が妥当である。
- 答** 開発許可処分には、公定力があるため取り消されるまでは処分は有効であり、裁判では開発許可の取り消しを求めているが、開発許可の要件に町道の廃止というものはなく、議決が影響することはないものと考えている。



町道路線廃止図

今回の町道路線の廃止につきましては、大企業に対し不明朗極まりない手続きであり、行政として法を守る立場でありながら、極めて不適切な対応であると言わざるを得ません。さらに本議案に対して、町としての説明責任が果たされていない状況であります。

よって、議案第26号町道の路線の廃止については反対です。

堀江 快治 議員

大型集客施設開発区域内の町道廃止提案は、道路法を大きく逸脱しており、法遵守すべき町職員の対応は、議会軽視とともに極めて不適切である。廃止議決しても私権制限が継続され、2か月間は、道路管理者の管理下に置かれる。そもそも開発許可の違法性を問う裁判に影響するもので、議会の慎重な判断が求められている。

長瀬 衛 議員

反対討論

岡野 勉 議員

道路法は「路線の廃止・認定は」「あらかじめ議会の議決を経なければならぬ」とある。しかし町は、道路工事の「とん挫」に、有効だと工事の完了後に議会に諮ってきた。町は法を守るべきだ。同時に「住民への説明責任・合意形成」の欠落だ。全てを洗い出し、住民参画・住民本位の道路行政の進展に期待する。

埼玉県消防操法大会に毛呂山消防団出場！ 臨時会にて113万9千円を可決

新型コロナウイルスの影響により2年間にわたり、埼玉県操法大会が中止となっておりましたが、今年
は新型コロナウイルス感染症対策の下、開催する運びとなりました。ただし、令和4年度埼玉県消防協会
西入間支部消防ポンプ操法大会の中止が決まっていることから慎重な審議の結果毛呂山消防団が出場する
事となりました。尚、選手については各分団から選考を行い、選抜チームにて出場する事となりました。



頑張れ毛呂山消防団！

第二分団 植田雄己(うえだゆうき)

毛呂山消防団各分団からの選抜チームであり、短期
間での練習ですが、県大会は優勝目指して頑張ります。

第三分団 山畑定義(やまはたさだよし)

今まで培ってきた毛呂山消防団の伝統に恥じぬよう、
県大会では上位を目指して頑張ります。

第四分団 井上順仁(いのうえまさと)

オール毛呂山の選抜チームとして、皆さんの期待に
応えられるよう、県大会では優勝目指して頑張ります。

第五分団 福島康太(ふくしまこうた)

選抜チームとしての出場ですが、一分団から五分団
までの団員の分まで県大会では優勝目指して頑張ります。

第一分団 雨宮周平(あめみやしゅうへい)

今回出場する小型ポンプは第一分団には無いので、
動き方もわからない無知な状態ですが、優勝目指して
頑張ります。

●議案の審議結果

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案		神山和之	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	高橋達夫	長瀬衛	堀江快治	小峰明雄	審議結果
【6月定例会】																
専決 処分	税条例、都市計画税条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
一部 改正	税条例等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正 予算	一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
町道の路線の廃止・認定		生活福祉常任委員会へ付託													閉会中の 継続審査	
【6月臨時会】																
町道の路線の廃止		×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	議	原案可決
町道の路線の認定		○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	×	議	原案可決
補正 予算	一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

一般質問

町政を問う!

~13名が登壇~

- 毛呂山町に健幸都市宣言を
- 消防団員の報酬等の改正

下田 泰章

- 在宅医療・在宅介護に対する安全対策
- 空き家・空き地対策
- 川角駅周辺整備事業

佐藤 秀樹

- ひとり親家庭への支援
- 毛呂山町未来応援奨学金返還支援補助金の状況
- 前立腺がんの早期発見と傷病者への配慮

荒木かおる

- 生活保護の扶養照会

牧瀬 明

- 物価高騰による今後の学校給食
- 带状疱疹予防のワクチン接種

千葉三津子

- ふるさと納税で町の財源を豊かにするには
- 桂木ゆず栽培の発展・継続の為の方策は

村田忠次郎

- 町の将来像である「輝く緑 輝く瞳 輝くまちなもろやま」の現状と課題点

長瀬 衛

- 少子高齢化の進行に伴う町の政策見解
- 企業誘致による町の財政的効果
- 地方公務員の定年延長への対応
- 町の教育行政

堀江 快治

- 町内交通安全対策

澤田 巖

- 企業誘致の今後
- 職員のスキルアップ
- 町民の情報提供と苦情処理
- もろやま創成舎

平野 隆

- 毛呂山町小中一貫校(学校統廃合)
- 鎌倉街道の広域行政協力の働きかけ

岡野 勉

- 町内における廃棄物等の堆積
- イオンタウン開設に伴う交通渋滞

神山 和之

- 障害者支援の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 町民の安全確保
- マイナンバーカード取得促進

小峰 明雄

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を議員本人が編集しています。

毛呂山町に健幸都市宣言を!

町の地域性を活かした取組と考える



下田 泰章

問 この健幸という文字は健康の「康」という字を「幸せ」という字に書き換えた造語です。昨今、この言葉を活用した健幸都市宣言を宣言する自治体が全

国に数多くある。その背景には少子高齢化が進み介護や医療など扶助費が増加傾向にあり、その解決策として町民・市民一人一人が単に健康という身体的に病気がないことだけでなく、精神的な健やかさや日々の充足感、生きがいといったことに重きを置き、様々な分野と融合させた政策展開を実施したうえで、社会保障費の抑制を念頭におき安

心安全で豊かな生活を営むことができる街づくりを目指すために、この宣言をする自治体が多くあると推察する。本町の特性を最大に活かした町政運営において、町民の健幸に対する動機づけは様々な手法で政策展開すべきと考える如何か。

答 人生100年時代と言われている中で、大きなキーワードの一つは「健康」であると認識している。本町には医療の面でも専門的な知識のある埼玉医科大学病院の存在があり、町の大きな強みである。今後、健康寿命延伸のための施策について、

関係機関との連携をさらに深化させ医学的にも根拠のある施策として展開していくことが住民の理解や参加にも繋がっていくと考える。

問 今回の改正は出場報酬が1回から日額8000円を基準額とすることが示された。水防団の所管は町にあり現在の出場報酬は1回2000円である。

答 処遇について改善を図って参りたい。

問 経費の負担増に対して国から支援策があるのか。

答 特別交付税措置の対象。



健幸・幸齢・幸福の町を

ハラスメント対策組織を作るべき

【答】対策を検討して行きます



佐藤 秀樹

問 令和4年1月27日にふじみ野市において医師が散弾銃で殺害される事件が発生致しました。当町としても在宅医療・在宅介護に伴うリスクを今一度認識し

答 対策に取り組むべきと思うが町の考えは如何か。
答 引き続き関係機関との連携を強化していく。

問 私は弁護士、在宅医療、精神科医などの医師がアドバイザーで入って頂き、町、警察などとハラスメント対策組織を作るべきと思うが如何か。
答 町内の介護事業者と協議を行い対策を検討していく。

ひとり親家庭等医療費の自己負担廃止を

【答】今後廃止する方向で考える



荒木かおる

問 こども医療費及び重度心身障害者医療費は、今年の10月にひとり親家庭等医療費については、来年1月に現物給付化される予定。ひとり親家庭等医療費

制度では、所得制限があり、条例上、自己負担金が発生する世帯がある。来年1月の現物給付化の際、自己負担金はどうなるのか。
答 条例上の規定を改正しない限りは、現物給付化しても課税世帯については、自己負担金が発生する。

問 せっかく、県内の医療機関で支払いをせずに受診ができる

空き家・空き地対策

問 空家対策特別措置法とは。

答 危険な空き家等を特定空家等に指定し、助言・指導・勧告・命令が出来るようになり、行政代執行が可能。命令に違反した場合等は過料を規定している。

問 令和5年4月に法が改正される内容は。

答 民法第233条第1項竹木の枝の切除及び根の切り取りです。

問 空き家・空き地対策は一刻を争う事態。早急に空家等対策協議会を再開すべきと思うが。

答 年内に開催できるように計画の見直しを進めている。

川角駅周辺整備事業

問 協議会の状況は。

答 4月26日に第3回協議会を開催した。

問 下川原地区から何年にわたり要望書が出ているか。

答 確認できているだけでも平成12年から頂いている。

問 整備事業のテーマは、周辺の危険な道路状況の解消だったはず。原点到振り返り課題解決をまずは進めるべきではないのか。

答 協議会委員のご理解・ご協力を頂きながら協議を進めていく。

ようになるのに現状では、一部の受給者は支払いをしなければならぬ。現行のひとり親家庭等医療費制度における自己負担金の扱いについてのお考えは。

答 ひとり親家庭等医療費制度の自己負担金に関しても、検討が必要と認識している。

問 毛呂山町未来応援奨学金制度に対する問合せが30件以上入り、既に10件の申請があるとのこと。この事業は若者の定住促進に繋がる事業だと思いが当初の予算で不足した場合の対応はどのようにお考えか。

答 本制度の申請期限は毎年9

月までとなっている。現時点での申請者数は10人だが、今後の申請者数の動向によっては補正予算への計上も検討していく考え。

問 前立腺癌、膀胱癌は手術後尿漏れ等の症状で尿漏れパッドが必要になる方がいる。町内公共施設の男性用トイレのサニタリーBOXの設置状況は。

答 男性用個室には設置なし。社会生活を維持する上でも罹患者の方が安心して外出できるように男性トイレにサニタリーBOXが必要。

毛呂山町こども医療費
指定医療機関

保険証と受給者証を必ず
提示して受診してね

ひとり親家庭等医療費、全ての未就学児に現物支給を!

県が行ったハラスメント研修

県が行ったハラスメント研修

生活保護の扶養照会について

扶養照会の運用変更がありました



牧瀬 明

問 扶養照会は、福祉事務所から生活保護の申請者の親族に連絡をし、援助をできないか否かを問い合わせをするものです。この扶養照会について、「つく

ろい東京ファンド」(中野区に本拠)が2020年末〜2021年1月に実施した調査では、生活が苦しくても生活保護を利用しない人の3人に1人が「家族に知られるのが嫌だから」と回答しました。このアンケートが大きなきっかけとなり、国会で議論が重ねられ、その中で厚労省は2021年3月末に運用変更の通知を出しました。その内

容を伺います。

答 扶養義務の履行が期待できないと判断される扶養義務者に対しては、基本的に扶養照会は行わない取扱いになっている。

今回の改正では、要保護者が扶養義務者から、借金を重ねている、相続で対立、縁が切られている、当該扶養義務者と10年程度音信不通であるなどの場合は扶養義務履行を期待できない者としている。

当該要保護者が暴力、虐待を受けている場合は扶養照会しない。

扶養義務履行が期待できない

者についての類型としては、

当該扶養義務者が被保護者、社会福祉施設入所者、長期入院患者、主たる生計維持者ではない非稼働者(専業主婦、主夫等)、未成年者、おおむね70歳以上の高齢者等の場合なども該当する。

子育て世帯の経済対策として学校給食費の負担軽減を

地方創生臨時交付金の活用で負担軽減をしていきたい



千葉三津子

問 新型コロナウイルス感染症の長期化による影響により、物価高騰で学校給食の実施に影響を及ぼす可能性がある中、食育の推進、地場産物を活用した安心安全の

学校給食の推進で、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を提供することが重要と考える。今後の給食体制は、**答** 食材の価格に注視しながら成長期にある児童生徒の心と体の健康を支え、楽しみのある豊かな献立作成に努めて参りたい。**問** 全国的な物価高騰で、学校給食の値上げは多くの自治体で議論されている。今後の給食費

の値上げについての考えは。

答 保護者に過度な負担がかからない程度の給食費改定の検討が必要ではないかと考える。

問 国は生活者支援の観点から「地方創生臨時交付金」を有効活用して、子育て世帯の経済対策として給食費の値上げ分に充てる検討をして頂きたい考えがある。聞いて頂きたい対応を伺う。

答 物価高騰等で子育て世帯の負担軽減の観点から引き続き学校給食の無償化を令和5年3月まで実施するよう補正予算第2号の中に組み込んでいる。今後

世帯の負担軽減に取り組む。

問 带状疱疹の予防接種は、発症を完全に防ぐものではないが、発症しても軽症で済み、後遺症の予防に繋がるワクチン接種の一部助成をすべきと考えるが如何か。

答 医師会と十分協議し、国の動向も注視して参る。

問 病になってからでなく病を未然に防ぐ観点から带状疱疹ワクチンは重要だが。

答 ワクチン接種を行うことで、免疫力が高められ、発症や重症化を抑えられ、予防効果に期待ができる。



どうなる！物価高騰での学校給食

生活保護から

生活保障へ

生活保護を生活保障に改称し、国民の権利を明確化する。

ふるさと納税で町の財源を豊かに

目標額寄附額5千万円を達成したい



村田忠次郎

問 令和2年度下半期の実績は約1765万円、令和3年度は約3170万円です。

答 ふるさと納税のメリットは、

問 寄附をする側は、返礼品、税金控除などがある。自治体側は、財政収入を早期に確保。町のPRができ、地域の活性化に繋がる。町としては納税額の増額に向け、インフラ整備をして安全で便利な魅力的なまちづく

問 ふるさと納税の現状は。

答 返礼品数は令和2年30品目から現在は180品目。

問 もろやま創成舎にふるさと納税を委託してからの寄附額は。

りを進め町のファンを育てたい。

問 魅力あるまちづくりに向け議員としてもふるさと納税を推進したいが、町の考えは。

答 町だけではできない。議員や町民の皆様のご協力を頂きながら寄附額増額に努力します。

問 令和4年度の意気込みは。

答 リピーターを増やし目標寄附額5千万円を達成したい。

問 桂木ゆず栽培の発展・継続の為の方策は。

答 品種改良への支援と桂木ゆずのPRです。調査を行い、優良株の選別をした。今後は優良株を母樹とし、高品質な果実の

生産を図ります。宣伝としては、観光庁の補助事業の採択を受け「柚子ツーリズム実証事業」を行います。

問 大学での桂木ゆずの分析結果からは、品質の高さが証明された。商品開発に関わる人たちへのPRの必要性を感じる。宣伝はどのように行われているか。

答 大口の相談も来ているが需要に耐えられるかを心配する。需要に応えられる量を生産、商品化により知名度が上がり需要増という好循環の構築に努力する。

総合戦略の成果は

一定の成果があったが、人口減少が加速している



長瀬 衛

問 「産業の活性化と雇用の創出」の観点では、企業誘致の推進を図ってきたが、区域指定エリアについて一定の成果があった。

答 今後、税収面、雇用面、地域

問 町の将来像を踏まえ、現在進めている総合戦略では、人口減少問題に対応するための施策として4つの基本目標を掲げているが、これまでの成果は。

答 経済の活性化など総合的にどのような影響が出たのか評価検討していく必要がある。定住促進策では、第1期5年間で基本目標50人に対し60人の実績値とな

った。本町の人口減少は、各種データからも町が想定していた以上に加速しており、結果的にこの事実を真摯に受け止めるべきと考えている。人口動向は、政策立案の核となる最も重要な基礎資料であり、常に分析することが重要である。今後も根拠に基づき、事業評価を実施し、限られた財源の中で、真に必要な施策について改善を行いながら計画的に推進していく。

問 多額の財源と労力を投入したにもかかわらず、塩漬け状態の平成24年以降の事業について、方針を示すべきだ。

答 過去から休止している事業については、改善策や対応策を検討し、計画変更も加味しながら、行政の説明責任を果たす上で事業の完了に鋭意努力する。

問 川角駅周辺整備事業は庁内検討会から10年を経過し、駅基本設計費等、多額の血税を執行してきたが、住民合意を経ているなかった。地域住民より大学を優先してきたこと遺憾である。

答 事業の趣旨や協議会での意見を整理し、速やかにまとめるよう努める。



直視すべき町の実態



ふるさと納税関連のパンフレット

少子化がとまらない。対策に経済的支援を！

問 限られた財源の中で、充実に努める



堀江 快治

問 町の少子化が止まらない。少子化対策には経済面の支援が必要だと考えるが。

答 限られた財源の中で世代への経済的支援の充実に努める。

問 今後の少子高齢化政策についての町の見解は。

答 あらゆる世代にやさしいまちづくりを推進していく。

問 高齢者に対する投資について町の考えは。

答 介護保険制度や後期高齢者医療制度の適切な運用を含め、さらなる充実を目指していく。

問 企業誘致により固定資産税が増収となった場合における、

町の総体的な財政効果について伺う。

答 固定資産税が増収となった場合、普通交付税が増収分の75%減額となり、さらに企業誘致奨励金に該当した場合には固定資産税相当額の1/3を3年間支給するため、総体的には3年間は25%のマイナスとなる計算。

問 企業誘致促進条例に基づく奨励金の今後の方向性は。

答 自主財源確保の観点からも総合的に見直しを検討していく。

問 地方公務員の定年延長に対して町の準備状況は。

答 必要な条例改正の準備や役職定年等の検討をおこなっている状況。

問 本町の児童・生徒の基礎学力向上のための課題と展望は。

答 主体的・対話的で深い学びの実施や落ち着いた学級づくりが重要。

問 不登校の児童・生徒が大幅に増加している。学校にもどれる環境づくりを進めることが極めて重要だと考えるが。

答 教育委員会としても学校と連携を強化してしっかりと対応していく。

KEEP38とハンドサインの周知を

問 交通安全関係団体等と連携していく



澤田 巖

問 多くの方が来店し車両の出入りや歩行者の往來の増加が予想されるため開発業者や西入間警察署などと協議している。

問 交通渋滞の具体的な対策は。

答 渋滞対策として商業施設の開店時間帯は県道の青信号を長くし店舗から帰る車両が多い時間帯には町道の青信号を長くする【信号サイクル】と県道【右折レーン】の延伸を予定。

問 野久保線に大型商業施設が建設され近隣住民からは期待の声がある一方で交通渋滞や交通事故を心配する声がある。町の対策はどうなっているのか。

問 歩行者の安全対策は。

答 駐車場出入口口では車両と歩行者が交錯するために十分な安全対策を開発業者へ要望した。

問 信号機がない横断歩道では歩行者を優先する【KEEP38】プロジェクトがある、周知は。

答 埼玉県警察において安全運転意識向上により安全運転の促進を図るため道路交通法38条を重要視する【KEEP38】、横断歩道近くに看板を設置しスローパーマーケット等に協力を要請、ドライバーの方へ啓発活動を行っている。

問 横断歩道上に立っているだ

けではドライバーとしては横断するの判断しにくい手を上げるなどの【ハンドサイン】が有効であるが。

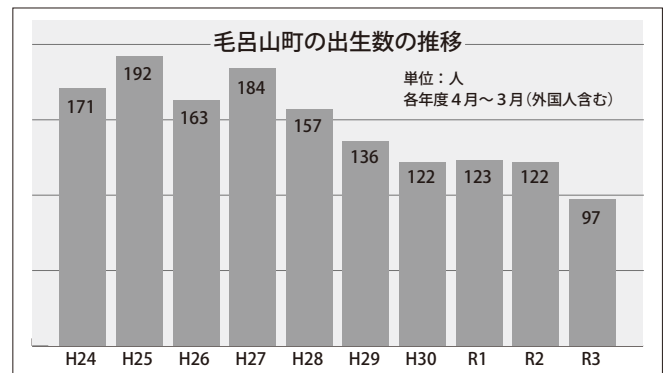
問 歩行者が横断歩道を渡る際のハンドサインの有効性は認識しており交通安全関係団体や西入間警察など関係機関と連携していく。

問 野久保線には信号機のない横断歩道が2箇所あり横断歩道のポイントが薄くなっているが。



手をあげて横断歩道を渡りましょう！

毛呂山町の出生数の推移



加速化する町の少子化の状況

今後の企業誘致は

図 今後も進めていく



平野 隆

雇用の創出を目的に戦略的に進めていく。

問 町はどの様な企業に来てもらいたいと考えているのか。

答 医療と福祉のまちを目指しているので、医療関連・健康産業の企業が誘致できれば更なるプラスの効果と考える。

職員のスキルアップ

問 職員のスキルアップは大変重要と考える。どの様な点を重視しているか。

答 人材育成基本方針に基づき、柔軟な発想で積極的に挑戦する自立型の職員の育成に取り組んで参りたいと思う。

問 公務員離れが進んでいる中、職員採用の課題は。

答 人材確保には積極的な広報活動を行い、毛呂山町をPRし、優秀な人材確保に努める。

町民の情報提供と苦情処理

問 町には様々な町民の声が寄せられると思うが、それは町政に生かされているのか。

答 いただいた内容を精査し、まちづくりのヒントになるもの

と考える。行政サービス向上に努めて参る。

問 どの様な苦情があるか。

答 接客や言葉遣い、勤務態度などに指摘があった。また、職員は法令などに沿った対応をしているにも関わらず、ご立腹された方もいる。今後も親切で丁寧な対応に努める。

もろやま創成舎について

問 創成舎の手がけるふるさと納税業務は如何か。

答 増額に向けた取り組みとして返礼品を180品目に増やした。努力して参る。

学校のあり方、公募は過半数と公開を！

図 公募委員5名、会議は公開とします



岡野 勉

学校のあり方(案)を策定。

その後、住民からの意見等を頂く機会を設け、この案が決定した際には見直しが必要です。

問 毛呂山、川角、泉野、光山小学校の存続を求める陳情署名が3203筆議会へ提出された。

答 検討委員会で検討します。

問 基本的なことだが再検討に至った経緯が述べられていない。

答 35人学級の導入、コロナ禍でのあり方検討委員会」で「小中

会的環境が変わったと言うが、中学校2校で「一貫校」が行き詰まった数値を示して頂きたい。

特に町長、これだけ町の広報で令和8年、10年に一貫校がスタートと言ってきた。再検討に至った説明が具体的に必要だ。

答 教育部局から一貫校にした場合、教室数の不足が示された。また、安全・安心な教育環境を整えるには多額の経費が必要だ。

問 教室の不足に加えプール、特別教室など確保できるのか。

検討委員会は公募委員が構成の過半数、会議は公開が原則だ。

答 公募委員は5名、会議は公

開とします。

鎌倉街道の広域行政協力の働きかけ

問 鎌倉街道が通る県内13自治体とは。広域の自治体と力を合わせた文化財の活用共通プラットフォーム作製等。

答 狭山、嵐山、深谷、寄居、小川、鳩山、所沢、坂戸、美里、神川、日高、本庄。広域の行政協力では今後充分に検討します。

問 国指定の意義優位性は。

答 広く周知。街道公有化には8割が国庫補助、開発行為に規制が強化される。



「再検討」の理由は「教室が不足」するため！



東部第2エリア

町内における廃棄物の堆積について

【問】県の連携を強化し、町もしっかりと対応しよう



神山 和之

【問】町内における廃棄物の堆積場所が増えているが、法令に適合した保管なのか。とのご意見を町民から頂いたが、廃棄物の堆積場所は、何箇所あるか伺う。

【答】数年にわたり産業廃棄物保管している場所は、6箇所あり主に建築物解体による廃棄物だ。【問】産業廃棄物は県の所管だが町も併任制度があり、指導可能だ。県との連携強化を図れば、産廃は減少すると思うが如何か。【答】県と更なる連携強化を図る。【問】町内の産業廃棄物の堆積は廃棄物の積上げの高さ、保管量等が問題で法律の規定に反する

と考えるが、現状を鑑みて法律違反なのか課長の考えを伺う。【答】明らかな法律違反と考える。【問】町長に伺う。西戸地内に多く産廃が堆積されているが、現状と今後原因者が何らかの理由で、原状回復できない場合、町の対応と措置について伺う。【答】西戸地内の産廃は、酷い状態であり、火災も発生している。県には強い対処を望み、町も事前に確りとした対応をしていく。【イオン開設に伴う交通渋滞】

【問】本地区は通学路でもあり、歩行者の安全対策と交通渋滞について、警察本部から町及び事業者に対する指導は、伺う。【答】交通処理計画を基に町が吟味し話し合いを行つてる。【問】県道と交差する信号機調整と右折帯約28m延長は、未だ警察と協議中か伺う。【答】警察の許可を進めている。【問】交通処理計画に一時間当たり出入口等歩行者の記載がないとの答弁。歩行者の安全が最優先であるが、町長に伺う。歩行者の安全確保と交通渋滞緩和策など、町は事前に審議会等設置しての協議が、必要だ伺う。【答】審議会は設置してない。



町内における産業廃棄物の不適正な保管状況

一般質問後の障害者優先調達の実績額は

【問】年々調達額の向上に努めた



小峰 明雄

【問】平成28年第3回・平成30年第2回の定例会において一般質問以降の障害者優先調達の実績額が、伸びているようだが、実績及び取組みは。

【答】議員ご指摘のとおり、清掃・除草作業などの委託契約の導入により、向上が図れた。【問】障害者優先調達の課題に、町内や近隣で提供できる施設等が少ないことへの対策は。【答】現在、毛呂山町社会福祉協議会と協議を行っております。【問】障害者就労施設等の販売機会の確保等への今後の支援策は。【答】検討してまいります。

【問】GIGAスクールとプログラミング教室、ご見解は。【答】児童生徒がICTに興味を持ち効果的に活用できるようにプログラム教室を開催する。【問】スポーツ少年団への支援は。【答】補助金を交付し施設使用料の減免など財政面で支援する。【問】男性地方公務員の育児休業の取得率を向上させる、改正地方公務員育児休業法が、公布されましたが、ご見解は。【答】男性職員の育児参加について有効活用が期待されます。【問】男性職員の育児休業の制度の理解は重要、職員への周知は。

【答】改正の趣旨や職場での理解促進について全職員に向けて通知してまいります。【問】我が国に対する武力攻撃事態等から町民の生命・身体・財産を保護する目的の国民保護に関する毛呂山町計画、ご見解は。【答】防災訓練との連携に配慮し、対策本部設置訓練等を防災訓練に組み込むことを検討してまいります。【問】令和4年度のマイナンバーカードの取得促進は。【答】町内施設等に出向き取得促進に取り組んで参りたい。

毛呂山町障害者優先調達推進方針推移

	目標額	実績額	達成率	対前年実績比
平成25年度	100,000	0	0.0%	
平成26年度	100,000	61,560	61.6%	
平成27年度	100,000	49,920	49.9%	81.1%
平成28年度	100,000	171,984	172.0%	344.5%
平成29年度	300,000	480,420	160.1%	279.3%
平成30年度	400,000	630,272	157.6%	131.2%
令和元年度	650,000	711,564	109.5%	112.9%
令和2年度	650,000	756,982	116.5%	106.4%
令和3年度	1,000,000	1,272,470	127.2%	168.1%

更なる物品等の調達の推進を切望する

～議会を傍聴してみませんか～

町議会は、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれる定例会と、必要がある場合に開かれる臨時会があります。町政の運営状況、議員の活動状況、議会の様子を知ることができますので、お気軽にお越しください。

傍聴手続き

傍聴席入口は、役場5階にあります。傍聴受付は、本会議当日、役場庁舎5階の生涯学習課窓口にて行っています。傍聴席には先着順にご案内をしています。満席の場合は、1階ロビーのテレビ放送をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、座席数を制限して開催する場合があります。

テレビ放送も 行っています

各議員の一般質問登壇日から1、2週間後に、ケーブルテレビで放映しています。

放映予定日については、町ホームページをご覧ください。議会事務局(TEL295-2112内線411)までお問い合わせください。

誤記訂正のお詫び

令和4年5月1日発行の議会だより116号、長瀬衛議員の一般質問の見出しに誤りがありました。

誤 人工減少
正 人口減少
訂正してお詫びいたします。

人事

◎埼玉県町村議会議長会
副会長

小峰 明雄 議長

埼玉県町村議会議長会

埼玉県内23町村議会をもつて組織されている連合組織で、地方議会の円滑な運営と地方自治の振興発展に寄与することを目的として昭和24年に設立されたもの。

政務活動をはじめ、町村議会運営の研究や各種調査事業など、様々な活動を展開しています。



全員協議会

◎執行部協議事項

- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種の現在の状況について
- ・ 開発許可処分の取消訴訟等について
- ・ 鳩山町からの川越都市圏まちづくり協議会への加入申し入れについて
- ・ 毛呂山町いじめ防止対策推進委員会(調査委員会)の報告について
- ・ 毛呂山町スマートシティ事業の進捗について
- ・ 開発行為の許可に伴う道路の廃止及び認定の手続きについて

◎議会協議事項

- ・ 一部事務組合の臨時会の報告について
- ・ 第3回川角駅周辺地区整備協議会の報告について

傍聴席

6月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
5月31日(火)	2名
6月1日(水)	22名
6月2日(木)	22名
6月3日(金)	24名
6月6日(月)	4名
6月9日(木)	2名
合計	76名

6月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
6月27日(月)	8名

あとかぎ

令和4年7月8日、安倍元首相が参議院選挙中に銃撃され亡くなりました。ニュースを見ていたら小さな子供が「安倍元首相が好きだったので手を合わせに来ました」と報じられていました。このような、将来を担う子供の思いも奪った今回の事件は民主主義の根幹を揺るがす卑劣な蛮行であり許せませんし、無念でなりません。謹んでご冥福をお祈りするとともに、今後においては、安倍元首相の意を胸に日本の将来があるべき姿に進みます事ご期待致します。

国民の生活に於いてはウクライナ侵攻や新型コロナウイルスの影響により、物流が麻痺し、物価高に陥り、また円安により経済にも影響がおよんでいます。更に電力不足により節電を求められるという非常に不安定な生活を送らなければならない状況に陥っており、これから起こりうるかもしれない自然災害等をも心配すると暗い事ばかりになります。希望をもちながら、先ずは水分補給をしっかりと行い、熱中症にかからないように対策を打ちながらこの暑い夏を乗り越えていただきます事お祈り致します。

編集委員

委員長 千葉三津子
副委員長 澤田 巖
委員 下田 泰章
平野 隆
佐藤 秀樹
荒木かおる
アドバイザー 議長 小峰 明雄